

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 理事会議事録

日 時：平成24年7月22日(日) 午前9時～10時25分

場 所：かながわ県民センター R704

出席理事：斎藤・鈴木・日暮・松永・半田・小野・日置（欠席：片山・川畑・木村）

出席監事：宇田川（欠席：薄井）

出席顧問：なし（欠席：野村・鈴木）

冒頭、議長は半田理事が、議事録作成係は日置事務局長がそれぞれ務める旨の確認がなされた後、議長の進行により議事が開始した。

<議 題>

1. 会員の事故発生時の補償対策について

日置事務局長より、市からの要請前に通信活動等を行った会員が事故に巻き込まれた場合の補償対策については、引き続き横浜市危機管理室と打合せを重ねているが、当面の対応策として以下の通り提案するとともに、今後の進め方について審議をお願いしたいとの説明があった。

<提案> 危機管理室から利用の提案があった「横浜市市民活動保険」は、地震・噴火・津波による事故が補償対象外となっているという難点はあるが、それ以外の事故はカバーされており、事前の加入手続や保険料支払も不要であることから、さらに危機管理室とは包括的な補償対策について話し合いを進めることにしているものの、当面の対応策として今後全区で統一して利用していくことを提案したい。

<審議> 上記の「横浜市市民活動保険」でカバーされない地震・噴火・津波による事故については、① 天災タイプのボランティア活動保険を付保してカバーする(ただし、保険料の負担をどう処理するかという問題が生じる)、② 市との協定を改訂してカバーしてもらえるよう危機管理室に再度働きかける(東京都文京区とアマチュア無線非常通信連絡会との間の協定の文面を引合いに出して)、という2つの案が考えられる。7月24日(火)に危機管理室からの呼びかけで双方の代表者による懇談会が開催されるが、その際に危機管理室に対してどのように提案するかについて審議をお願いしたい。

協議の結果、<提案>については、「横浜市市民活動保険」を今後全区で統一して利用することとし、担当理事からこの後開催される支部長会でその旨の報告をすること、また、<審議>については、事務局長から上記の2案とも危機管理室に提案を行い

話し合ってみることとなった。

2. 九都県市合同防災訓練・横浜防災フェアへの参加について

斎藤会長より、以下の通り、報告があった。

① 九都県市合同防災訓練

- ・ 9月1日(土)にみなとみらいで実施。
- ・ 今年は西区支部が担当。すでに区との打合せが始まっているとのこと。
- ・ テントを一張借りるとのこと。

② 横浜防災フェア

- ・ 8月25・26日(土・日)に赤レンガ倉庫で開催。ハムフェアと日程が重なる。
- ・ 今年は港南区支部に担当してもらおうべく、担当理事から要請したが、断られた。従って、今年は本部が担当して実施する。
- ・ 機材は磯子区支部が担当。今後、各支部に応援を要請する予定。

3. 市役所・区役所間電波伝搬状況の調査について

斎藤会長より、昨年は横浜防災フェアの初日に実施したが、今年の実施について協議したいとの提案があり、協議の結果、昨年調査に参加できなかった区(6区)を中心にして話し合っ実施候補日を3つほど決めてもらうこととし、それをこの後開催される支部長会で担当理事より報告のうえ検討してもらうこととなった。

4. その他

(1) 支部長会の位置付け等々

宇田川監事より、支部長会はもともと連絡会であったが、最近はその位置付けが変わってきているようなので、再検討しては如何か、また、理事会メンバーとの合同による拡大役員会なども開催しては如何かとの意見があった。

また、同監事より、当協力会で会費を徴収することになった場合は、理事に会計担当を設けるとともに、規約を改訂する必要があるとの意見があった。

以 上